



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイティブ株式会社

コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	19,420	2.2	193	-	242	-	129	-
29年3月期第1四半期	19,005	△7.0	△226	-	△241	-	△116	-

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 161百万円 (391.0%) 29年3月期第1四半期 32百万円 (△93.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.66	2.65
29年3月期第1四半期	△2.40	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	29,646	11,188	37.6	228.96
29年3月期	29,621	11,008	37.0	225.29

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 11,153百万円 29年3月期 10,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,268	2.3	2,521	-	2,703	-	1,383	-	28.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	49,414,578株	29年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	701,348株	29年3月期	717,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	48,702,795株	29年3月期1Q	48,612,210株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の設備投資や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの個人消費は力強さに欠け、また、海外政治情勢への懸念による不確実性の高まりなど、先行きに不透明な状況が続きました。

外食業界におきましては、食材価格の高騰、人材確保の競争の激化、食の安全・安心に対する社会的関心の高まりに加え、消費者の節約志向の影響から、経営環境はより一層厳しさを増しております。

このような状況の中、店舗改装(14店舗)や新規ロゴへの看板変更(一部店舗を除く)を行うなど、新規顧客の獲得及びリピーターの増加を目指してまいりました。

新規出店については、本年4月に一関店、6月に安中店の計2店舗をオープンいたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は194億20百万円(前年同四半期比2.2%増)、営業利益は1億93百万円(前年同四半期は営業損失2億26百万円)、経常利益は2億42百万円(前年同四半期は経常損失2億41百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億29百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億16百万円)となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

<回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、北海道産ボタンエビや三陸産生銀鮭などの国産ブランド食材をはじめとする、「かっぱ寿司」でしか味わえない素材にこだわった新鮮で魅力ある旬のネタの提供や、サイドメニューの強化として麻婆油そばやラムネ氷パフェの販売などを行ってまいりました。加えて、6月中旬より一部店舗において、平日14時から17時の時間帯で「食べ放題」を実施し、お客様の来店動機の強化に取り組んでまいりました。また、店舗オペレーションの観点におきましては、お客様により良い商品・サービスをご提供すべく、調理マニュアルの見直しやスピード向上のための取り組みを行っております。さらには、従来は「かっぱ寿司」全店を8営業部で統括しておりましたが、12営業部に細分化し、より極め細やかな管理・教育ができる体制とし、店舗オペレーションの強化と共に事業構造改革は順調に推移しております。

海外では韓国で回転寿司を6店舗運営しております。メニューの定期的な見直しを中心とした、商品力・サービスの向上に注力し、改善を進めております。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は163億6百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。

<デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当、調理パン等の新規取引先の拡大及び既存顧客の販売強化に取り組んでおります。

以上の結果、デリカ事業の売上高は31億14百万円(前年同四半期比8.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間における総資産は296億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が5億37百万円減少、建物及び構築物が4億75百万円増加、工具、器具及び備品が1億33百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結累計期間における総負債は184億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が5億74百万円減少、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が5億25百万円減少、長期未払金が6億26百万円増加、未払消費税等が3億20百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間における純資産は111億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1億29百万円により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月28日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,493	3,956
売掛金	1,672	1,514
商品及び製品	354	360
原材料及び貯蔵品	262	255
未収消費税等	368	345
その他	1,081	1,230
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,233	7,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,517	30,025
機械装置及び運搬具	4,425	4,501
工具、器具及び備品	4,318	4,461
土地	3,235	3,235
リース資産	2,020	2,106
建設仮勘定	74	87
減価償却累計額	△30,358	△30,488
有形固定資産合計	13,233	13,930
無形固定資産		
	197	211
投資その他の資産		
投資有価証券	853	854
敷金及び保証金	6,569	6,503
その他	497	450
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	7,910	7,798
固定資産合計	21,342	21,939
繰延資産		
社債発行費	46	43
繰延資産合計	46	43
資産合計	29,621	29,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,704	3,130
短期借入金	398	398
1年内返済予定の長期借入金	1,964	1,650
1年内償還予定の社債	540	540
未払金	1,110	1,343
未払費用	1,878	2,060
リース債務	461	493
未払法人税等	385	154
未払消費税等	181	502
賞与引当金	316	73
株主優待引当金	123	179
店舗閉鎖損失引当金	56	42
繰延税金負債	14	14
その他	253	284
流動負債合計	11,388	10,868
固定負債		
社債	2,190	2,190
長期借入金	1,626	1,414
長期未払金	1,179	1,805
長期預り保証金	115	114
リース債務	506	480
資産除去債務	1,467	1,454
繰延税金負債	63	63
その他	76	66
固定負債合計	7,224	7,590
負債合計	18,613	18,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	3,664	2,251
利益剰余金	△1,783	△235
自己株式	△673	△658
株主資本合計	11,006	11,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△3
為替換算調整勘定	△31	△0
その他の包括利益累計額合計	△35	△3
新株予約権	37	34
純資産合計	11,008	11,188
負債純資産合計	29,621	29,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	19,005	19,420
売上原価	9,398	9,423
売上総利益	9,607	9,997
販売費及び一般管理費	9,833	9,804
営業利益又は営業損失(△)	△226	193
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	30	35
受取家賃	69	63
自動販売機収入	15	15
雑収入	20	24
営業外収益合計	151	152
営業外費用		
支払利息	14	13
社債利息	—	4
賃貸収入原価	60	55
為替差損	69	12
雑損失	21	17
営業外費用合計	166	103
経常利益又は経常損失(△)	△241	242
特別利益		
固定資産売却益	2	—
退職給付制度終了益	272	—
特別利益合計	274	—
特別損失		
固定資産除却損	14	15
減損損失	—	32
特別損失合計	14	48
税金等調整前四半期純利益	18	194
法人税、住民税及び事業税	71	66
法人税等調整額	63	△0
法人税等合計	135	65
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△116	129
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116	129

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△116	129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
退職給付に係る調整額	108	—
為替換算調整勘定	42	31
その他の包括利益合計	149	31
四半期包括利益	32	161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32	161
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月21日開催の第39期定時株主総会の決議により、資本準備金を1,187百万円減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を1,418百万円減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。